

令和7年11月20日
はぐみホーム立川西事業所
書記 山崎

議事録（地域連携推進会議 第1回目）

日時 令和7年11月20日（木） 午後6時00分～

場所 はぐみホーム立川西事業所 はぐみホーム国立西ユニット

参加者 管理者Y サビ管I、当事者家族O様、地域及び福祉支援員T様、利用者Nさん

内容 地域連携推進会議の開催について

1. 地域連携推進会議の目的について

地域連携推進会議を開催する目的は、利用者と地域の関係構築、サービスの透明性・質の向上、利用者権利の保護です。特に、利用者と地域社会の接点を増やすことで、閉鎖的な運営を防ぎ、サービス品質を高める狙いがあります。

主に以下のとおりです。

- ① 地域との関係構築：利用者と地域住民の交流を促進し、相互理解を深める
- ② 透明性の確保：事業所の運営状況を地域や関係者に公開し、信頼性を高める
- ③ サービス品質の向上：外部の視点を取り入れ、支援内容や環境の改善を図る
- ④ 権利擁護について、利用者の意見を反映し、不適切な扱いや虐待を防止する

会議内で一度にすべてを話し合っていくことは難しいため、どの分野が取り組みやすいか話し合った結果「4」を次回も細かく話し合っていくこととした。

2. 事業所と地域との連携について

事業所が障害者に提供する障害福祉サービスに関する基本的な取組みをご説明しました。また、以下の事項を確認しました。

- ① 近隣からの苦情等の共有について

→特に障害者ホームと説明している近隣住民から大丈夫なのかと声がかかることがあるのでどのように対応するのがいいのかなど話し合った

- ② 地域行事の案内や情報共有

3. 事業所としてのサービス提供の透明性・質の担保について

このような会議を通じ、皆様（地域連携推進員）が事業所や施設を訪問してくださることを通じ、皆様からの「視点からの気づき」等を通じ、サービス提供の透明性や質の担保を図

ることが大切であると考えています。

特に、私たちが従来から実施している虐待防止研修等の研修や個別支援計画がうまくいっているかをご理解頂く良い機会であると考えております。

- ① 利用者の日常生活のご様子のご説明
- ② 当事業所の経営状況のご報告
- ③ 事業所として BCP（事業継続計画）の策定状況についてのご説明

上記さん点について説明しました。

4. 利用者の権利擁護について

障害福祉サービスを行ううえで、利用者の権利擁護を最も注意を払っております。こうした中で、以下の事項を地域連携推進員の皆様にご説明しました。

- ① 虐待防止の取組み、事故状況の報告、ヒヤリハットの報告
- ② 支援状況の様子の説明
- ③ 利用者の意向に対するアンケート結果のご報告（第三者評価より）

5. 各ユニットを巡回見学した。

【今後、事業所として地域連携推進会議の開催予定】

- ア 地域連携推進会議は年1回以上開催（今回実施済。次回来年11月開催予定）
- イ 担当者（山崎管理者）

以上